

○環境省等の政策・取組

●環境省等】本日 2 月 27 日 13 時半から、内幸町イイノホールにて「CDP ウォーターセキュリティ 2018 日本報告会 with Water Project」を開催します、席に余裕がありますのでぜひご来場ください

※記事中に、本日 13 時半公表の CDP ウォーターセキュリティ 2018 日本報告の概要へのリンクを掲載しています。

安全な水を得ることは、人が生きる基本であり、SDGs の 17 の目標の一つにもなっています。気候変動により、安全な水の確保が大きなリスクにさらされていることは、脱炭素経営が必要とされる理由の一つであり、またそのリスクに適応することは、気候変動適応策の一つです。

環境省では、2014 年 4 月の「水循環基本法」の公布を受けて、健全な水循環の維持・回復のために、同年 8 月より、Water Project (※) と題して、水環境の保全や水の大切さ、企業の水の取組などについて情報発信し、一人一人の取り組みや、企業等の主体的・自発的・積極的な活動を推進しています。

※Water Project/ウォータープロジェクト <http://www.env.go.jp/water/project/>

また、脱炭素経営の推進に当たり環境省とも様々な連携協力をしている国際環境 NGO の CDP は、気候変動と同様に、水資源管理や森林保全についても、投資家・企業・都市・国家・地域へのエンゲージメント(働きかけ)の基礎となる企業の取組状況の情報開示に取り組んでいます。

今回の報告会では、水をめぐる課題を包括的に扱い、CDP が実施している企業の水資源管理への対応に関する調査結果の報告、Water Project の取組事例の紹介、SDGs と水リスクや、マイクロプラスチックによる水環境汚染などをテーマとする講演などを実施します。

席に余裕がありますので、会場に直接ご来場いただければ、入場可能ですし、一部の参加でも可能です。ぜひご来場ください。

<日時>

2018 年 2 月 27 日 (水) 13:30~17:10 (開場 13:00)

<場所>

イイノホール 東京都千代田区内幸町 2-1-1

<プログラム>

13:40~ 基調講演「SDGs のその先と水リスク」

東京大学総長特別参与・サステナビリティ学連携研究機構教授 沖 大幹

14:10～講演「マイクロプラスチックによる水環境汚染」

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 田中 周平

環境省 Water Project 参加団体による取組事例紹介

“日本のお風呂文化を未来まで”人にも、地球にもやさしい入浴剤の開発

林啓史 株式会社バスクリン総務部 CSR 推進グループ マネージャー

(参考) BATHCLIN ECO VISION BOOK

<https://www.bathclin.co.jp/pdf/company/ecovisionbook.pdf>

“ゴミから護美へ～プラスチックゴミ問題によせて”

石井清輝 ニホンスイ合同会社 代表

15:25～ 講演「CDP Cities について」

吉岡剛 一般社団法人 CDP Worldwide-Japan

<https://www.cdp.net/ja/cities>

15:35～ 講演「CDP ウォーターセキュリティ 2018 日本概要報告」

斎藤和彦 KPMG あずさサステナビリティ株式会社 代表取締役

レポートは本日 13 時半に以下のサイトに掲載されます。

閲覧には、CDP ユーザー登録（無料）が必要です。

日本語版：<https://www.cdp.net/ja/reports/downloads/4159>

英語版：<https://www.cdp.net/en/reports/downloads/4174>

15:55～ 講演「グローバルな水課題と投資家の視点」

広瀬悦哉 株式会社 QUICK 常務執行役員 ESG 研究所 主幹

16:15 パネルディスカッション「日本企業の水への取組」

ダイブ・マンツ 花王株式会社 ESG 部門 統括 執行役員

溝内良輔 キリン株式会社 取締役常務執行役員 兼

キリンホールディングス株式会社 常務執行役員

二瓶亮 株式会社 LIXIL グループ 執行役専務 技術担当 CTO

斎藤和彦 KPMG あずさサステナビリティ株式会社 代表取締役

広瀬悦哉 株式会社 QUICK 常務執行役員 ESG 研究所 主幹

モデレータ：森澤充世（一般社団法人 CDP Worldwide-Japan）

（参考）CDP ウォーターセキュリティ 2018 日本報告会 with Water Project 開催概要

<http://www.env.go.jp/press/106436.html>

<https://cdp-jp.net/1540188942/waterlaunchevent20190227>

（参考）CDP ウォーターセキュリティ 2018 日本概要報告

レポートは本日 13 時半に以下のサイトに掲載されます。

閲覧には、CDP ユーザー登録（無料）が必要です。

日本語版：<https://www.cdp.net/ja/reports/downloads/4159>

英語版：<https://www.cdp.net/en/reports/downloads/4174>

（参考）CDP Cities について

CDP は、環境問題解決の中核となる役割を果たす「都市」にも着目し、都市の取組に関する情報・データ（排出量、レジリエンス構築、気候変動の影響から都市を守るための対策など）を計測、管理、開示するためのグローバルなプラットフォームを提供しています。2018 年は 740 都市が、CDP のプラットフォームを通じてアクションを開示しています（2018 年は日本からは東京・横浜・名古屋が開示報告を実施）。これまで、C40 や GCoM についても、CDP Cities を通じて開示がされており、2019 年からは、イクレイの報告や情報開示も、CDP Cities を通じて行うこととなっているとのことです。

<https://www.cdp.net/ja/cities>

（参考）SBT (Science Based Targets)に関する最新動向

○IPCC の 1.5°C レポートを受けた目標設定の認証基準などの改訂について

2018 年 10 月の IPCC 特別報告書（1.5°C レポート）の発表を受けて、SBT イニシアチブは、今世紀末までの気温上昇を最低でも 2°C より十分低い水準はもとより、1.5°C に抑える水準を目指すよう促すために、目標設定の認証基準や設定手法等の方法論を改訂する作業を進めており、2019 年 4 月に発表の見込みとのことです。

<https://sciencebasedtargets.org/2019/02/20/science-based-targets-initiative-announces-major-updates-following-ipcc-special-report-on-1-5c/>

○金融機関向け SBT 目標設定基準などについて

金融機関のスコープ 3（投資先）を含めた SBT の目標設定の基準や設定手法等の方法論について、2020 年初旬の発表を目指して検討を進めているとのことです。

<https://sciencebasedtargets.org/financial-institutions/>

●環境省の2019年度予算事業の公募等が始まっています。是非ご活用ください。

- ・環境省再エネ加速化・最大化促進プログラム

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/co2reduction.html>

- ・2019年度エネルギー対策特別会計概算要求 補助金・委託費等事業（事業概要）

<http://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/energy-taisakutokubetsu-kaikeih31.html>

- ・わかりやすい！主な事業の自治体・事業者向け解説書

http://www.env.go.jp/earth/post_46.html

- ・脱炭素経営促進ネットワークに参加しませんか（随時募集中：現在目標設定会員 41社、支援会員 29社）

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/dms_trends.html#coutents_no05

●脱炭素関連ポータルサイト

グリーンバリューチェーンプラットフォーム

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html

「企業と投資家のための ESG 対話プラットフォーム」環境省 環境情報開示基盤整備事業

<https://www.env-report.env.go.jp/>

グリーンボンド発行促進プラットフォーム

<http://greenbondplatform.env.go.jp/>

日本版タラノア対話ポータルサイト、「タラノア JAPAN - 未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル」

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

事業者のための CO2 削減対策 Navi

<https://co2-portal.env.go.jp/>

L2-Tech 情報プラットフォーム

<http://l2-tech.force.com/>

環境省「ZEB PORTAL - ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ゼブ）ポータル」:

<http://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>

気候変動適応情報プラットフォーム

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/>

環境省 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cpttv_funds/index.html

低炭素水素サプライチェーンプラットフォーム

http://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_saisei/lowcarbon-h2-sc/index.html

環境省脱炭素促進メールマガジン

発行元：環境省地球環境局

※宛先の追加、変更、配信停止の操作は以下のサイトをお願いします。

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/mail_magazine.html

環境省脱炭素促進メールマガジンのバックナンバーもこちらで公開しています。

上記よりアクセスできない、その他お問合せの際は

decarbonize@env.go.jp

までご連絡下さい。
